



令和4年度 宿利原小学校だより

# 宿っ子 5月号



学校のホームページは上のQRコードからお入りください



## 極小規模校にとっての交流学习

校長 有留 盛昭

5月も下旬となり、梅雨間近になってきました。1学期の折り返しの時期となりましたが、子どもたちに大きな事故やけがもなく安全に過ごすことができ、教育活動も順調に実施されています。保護者・地域の皆様方のおかげだと感謝申し上げます。

また、先日のPTA奉仕作業では、たくさんの保護者・地域の皆様にお集まりいただき、除草や樹木の剪定、プール掃除等をしていただき、すっかり学校の環境が整いました。御協力いただきました皆様方に重ねて感謝申し上げます。

全校児童8名の宿利原小学校は、児童一人一人に目が届き、全員が様々な役割をもって主役になれる、極小規模校ならではの良さを備えています。一方で、学習の中で友達と意見を交わして切磋琢磨する機会に乏しかったり、体育や音楽の集団活動が困難だったり学校内だけでは達成しにくい課題もあります。音楽や体育の学習については、全校児童で学習を行うことで、集団での学習を少しでも経験できるようにしています。しかし、学年間の発達の違いなど解決できない課題も残ります。

そのような中、子供たちが楽しみにしている活動に他校との交流学习があります。5月18日には、本校の5・6年生2名が池田小学校に行き、集合学習を行いました。池田小学校の5・6年生5名と共に、音楽や体育の学習、そして修学旅行の事前学習などを行いました。1年生の頃から毎年数回ずつ交流を重ねてきている同学年の友達です。まもなく実施される、池田小・神川小・宿利原小学校の合同修学旅行も含めて、数年後に錦江中学校でクラスメイトとなる友達と親交を深めています。



↓池田小学校で体育

昨年度からスタートしているGIGAスクール構想・一人一台端末を活用した学習活動の特徴として、インターネットを利用した遠隔地との交流があります。極小規模校で学ぶ子供たちにとって、ICTを活用した交流活動は、多くの可能性を秘めているように思います。5月14日に開催した宿利原寺子屋塾開塾式では、鹿児島大学の学生さん達にはオンラインで参加してもらうことで、コロナ禍での参加を可能にしました。通常の授業においても多様な交流学习が行えるように、準備を進めていくことは、小規模校の取組としてとても重要になっています。同級生は少ないけれど、たくさんの人々と繋がり、たくさんの方々に触れることで、自ら成長できる場を設定できるように、今後準備を進めていきたいと



↑『寺子屋塾開塾式』画面に大学生

今年度の宿利原小学校の職員研修のテーマは『「わかる・できた・楽しい」を実感できる子供の育成～主体的・対話的で深い学びを実現する国語科の授業作りを通して～』です。年間を通して研修を深めていきます。特に、学校間でのオンライン交流などは、本校だけではできない学習ですので、色々な学校の先生方にも御協力いただくことになりそうです。「チーム錦江町」を意識しながら、全ての子供たちが成長できるように全職員で取り組んでいきます。



研究授業等、日々の実践の紹介は宿小フェイスブックで御覧頂けます。↑

